

交野市教委ニュース

第265号 令和8年7月28日発行

児童・生徒支援ルーム『グレープ』

Topics

みんなで収穫した じゃがいもでCOOKING



児童・生徒支援ルーム「グレープ」では、体験活動の一環として先月収穫したじゃがいもを使って「じゃがいもピザ」を作りました。

チーズにバター、しょうゆにケチャップ、自分で好きな味つけにアレンジ♪調理の際にも、「こっちのまな板使っていいよ」「切り方めっちゃ上手だな」「めっちゃ分厚い！大丈夫かな?」「いけるって！後で交換して食べよう」など何気ないやりとりがあちらこちらで聞こえてきました。互いを思いやり、声をかけ合って活動する姿には、一緒に過ごす心地よさや安心感があふれていました。



毎日みんなで水やりをして大切に育てたじゃがいもを、自分たちで収穫し、調理して、みんなでそろって食べました。登室している子どもたちも支援員も、みんな1つのテーブルで「おいしいなあ」と自然と笑顔が広がりました。

当日は在籍する学校の先生方にも来ていただき、一緒にできたてのじゃがいもピザを味わってもらいました。子どもたちにとって、自分たちが育てたものをみんなで囲んで食べる時間は、心もおなかもちたされる、かけがえのないひとときとなりました。

『グレープ』とは

交野市教育センター内に設置されている児童・生徒支援ルーム『グレープ』では、子どもたちが自分自身のペースで過ごしています。支援員とともに自主学習に取り組んだり、社会とのつながりを感じられるような、様々な体験活動に取り組んだりしています。